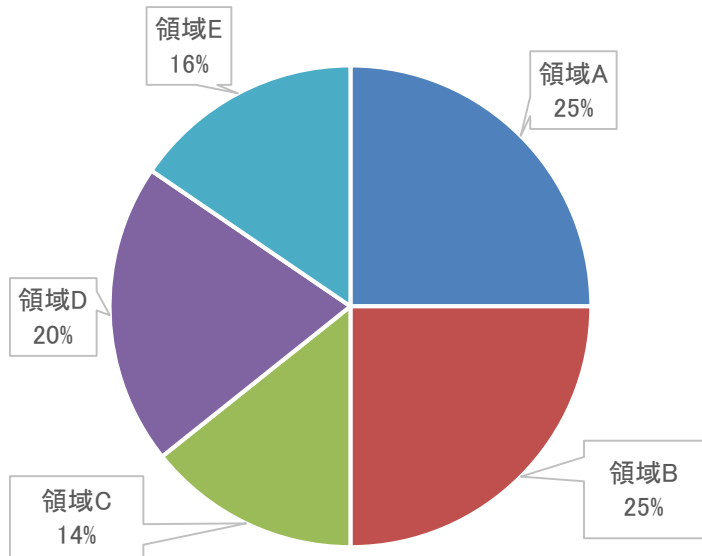


次世代がん医療創生研究事業 技術支援班の活用に関する アンケート結果

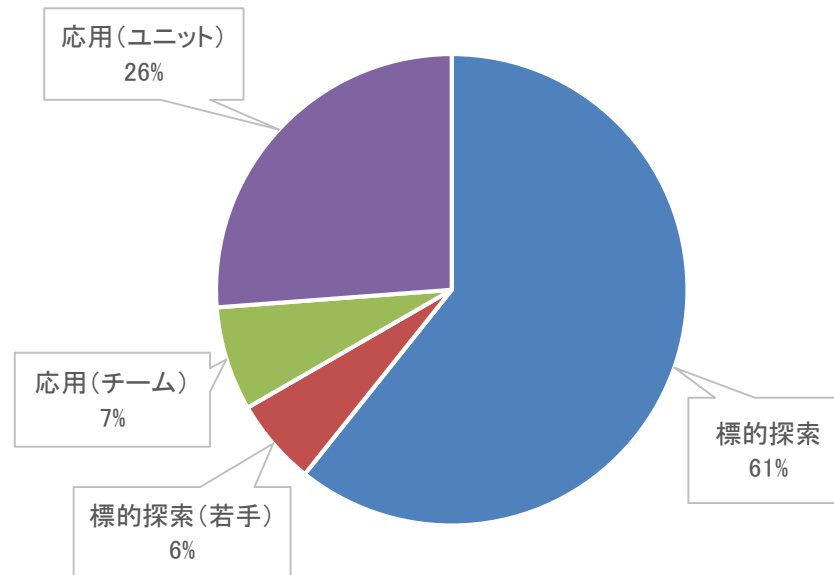
文部科学省研究振興局
研究振興戦略官付

回答者に関する情報(回答数:84件)

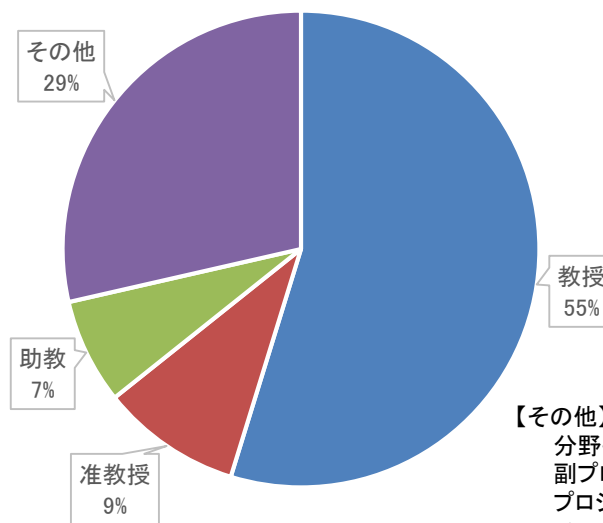
研究領域



公募タイプ



職位



【その他】

分野長、上席研究員、部長、講師、研究所長、所長、特任准教授、副プロジェクト長、専任講師、独立ユニット長、グループディレクター、プロジェクトリーダー、研究員、主任研究員、分野長、特任教授、チームリーダー、主任研究員、特命助教、グループリーダー

満足度及び回答の理由

(「満足」もしくは「やや満足」:92%、「どちらともいえない」:8%)

【研究計画の達成のための迅速かつ柔軟な対応】

- ・ 実験前のミーティングにより、薬剤の併用や細かい濃度設定といった個別の対応をしていただくことで実験の効率化を図ることができた。
- ・ スクリーニングで得られたシーズ全てについて、その都度パネル解析を行っていただいた。
- ・ シーズの開発研究を進めるために、大変有用な情報が得られた。また、今後の研究の進展にもよるが、動物レベルでの薬効評価支援やPETイメージング支援等の先々を見据えた支援が用意されており、利用していきたいと考えている。
- ・ 支援班の方々の創薬や化学の専門家からの意見を取り入れ、HTSからのヒット化合物を効率的に絞り込むことができ、時間と労力の大幅な節約が可能になった。
- ・ アッセイ終了後、迅速にデータをまとめていただき助かった。
- ・ HTSの系を複数立ち上げたが、その中から最も実現性が高いHTSを選択するために具体的な指導をいただいた。また再現性の高いHTSを施行していただいたため、3次スクリーニングが容易であった。候補化合物とDDSを組み合わせるためのディスカッション、予備実験を丁寧に行っていただき着実に研究を推進できている。
- ・ 事前に丁寧な打ち合わせをしていただき、その後の迅速な解析により、化合物開発の方向性に間違いがないことが確認できた。適応がん腫の目処をつけるのにも大変有用であった。
- ・ 核酸医薬品との組み合わせでの動態評価により、DDSの選定とその最適条件を絞り込むことができ、その後、継続的に核酸医薬品/DDSを提供していただいた。実験スケジュールに合わせて柔軟に対応していただいております、円滑に実験を進めることができている。

満足度及び回答の理由

(「満足」もしくは「やや満足」:92%、「どちらともいえない」:8%)

【高度な技術的支援(自分の専門では対応できないような)】

- ・ 高度に専門的な技術を基盤とした支援であり、研究開発の価値が高まる。
- ・ 多様なヒトがん細胞株を用いた機能評価を網羅的かつ同一条件下で実施することができ、一つの研究室レベルでは収集するのが困難な大規模データを効率よく得ることができた。
- ・ 取得した創薬シーズが様々な癌腫で効果を有することを明らかにすることができた。また、一部の薬剤については治療後に変動する遺伝子を解析して頂くことができた。
- ・ 抗体に同位元素を標識してin vivo imagingを検討していただいた。これにより、ヒトでのin vivo 診断を目指す根拠となり、本抗体のヒト化にも着手して成功している。
- ・ スクリーニングのためにALPHAアッセイを構築したが、技術支援班において、より高感度で特異性の高いHTRFアッセイに作り変え、大規模探索系の最適化をしていただいたことで効率の良いスクリーニングを進めることができた。
- ・ 支援班のサポートを受けたことで、標的分子に対する環状ペプチドが抗腫瘍剤の増強剤として利用可能であるとする非臨床POCを得ることができ、また、その開発研究成果を論文化するに至った。
- ・ いずれの技術支援班の先生方も協力的で、自分達では技術的に実施不可能な内容を支援していただけた。また、何度も研究打ち合わせをして頂き、様々なアドバイスを頂いたおかげで研究の質が向上した。
- ・ 日本、あるいは世界でもトップクラスの技術を利用した支援を得られるため、期待していた以上の結果が得られた。

満足度及び回答の理由

(「満足」もしくは「やや満足」:92%、「どちらともいえない」:8%)

【丁寧なコンサルテーション】

- ・ 技術支援班は専門性が非常に高く、アドバイスも的確。親身に相談に乗っていただいた。
- ・ 問題共有が確実で、その後の支援も手厚かった。ここまでの支援は想像していなかった。
- ・ 創薬対象のステージに立っていないと門前払いされるのではと思っていたが、現状を理解して頂き、解決すべき課題などを親身に指導していただいた。
- ・ いずれの支援も事前の打合せから具体的な支援開始までが迅速であり、結果についても非常に速やかにお返しいただき、有意義なディスカッションをしていただいた。
- ・ 技術支援班とのマッチング会議では、色々と有用なサジェスチョンをいただいた。技術支援班には、創薬研究に関する専門家が集まっており、自分たちの研究開発を進める上で、必要に応じて相談もできる大変心強い存在と思う。
- ・ 研究のステップにあわせて様々なご支援を提案していただき、非常に助かっている。関係者が一堂に介し、問題を共有するという手法も優れており、その後もWeb会議で議論を重ねていただいている。
- ・ 創薬については素人で解らないことが多かったので、実際に進めて行くに当たっての課題が明確になった。実際にその課題を解決しながら、現在は創薬に向けて研究を進めている。
- ・ 支援班の先生方には、単なる技術提供をしていただいただけでなく、科学的なディスカッションをすることにより、新しい研究の方向性が付きました。
- ・ 期待以上の支援をいただき大変感謝している。直接支援班のグループと顔見知りになれたことも非常にありがたい。

要望等

【要望】

- ・スクリーニングの規模の拡大
- ・合成展開支援の充実
- ・DISCライブラリーなどの製薬業界が有するツールの使用
- ・ゲノム異常の検証
- ・RNA-seq等の次世代シーケンス支援
- ・マスサイトメトリー用の抗体パネルの提供ならびに解析
- ・*In vitro* や *in vivo* におけるADMETの支援
- ・Web会議による、より頻繁なディスカッション
- ・予防やがん早期診断の医療ニーズの育成を支援する研究班の設置
- ・技術支援の内容について、広く周知できるとよい。次世代がん(後継のプログラム等)を考えている研究者にも情報が行き渡るとよい。

※技術支援を希望しなかった理由の中には「知らなかった」という意見もあった。

※要望意見の中には既に実施している支援もあった。

例) 合成展開、組織マイクロアレイ、PDXでの薬効評価など

【その他】

- ・感謝や継続を求める声多数。